

CLT パネルとデッキプレートを組み合わせた木・鋼ハイブリッド合成スラブ 「e-works+CLT 補強」を採用した木造・木質化オフィスビル「REVZO 新橋」が竣工

日鉄建材株式会社（代表取締役社長：新城晃）と株式会社竹中工務店（代表取締役社長：丁野成人）が共同開発した木・鋼ハイブリッド合成スラブ「e-works+CLT 補強」を採用した木造・木質化オフィスビル「REVZO 新橋」（事業主：中央日本土地建物株式会社）が2月末に竣工しました。

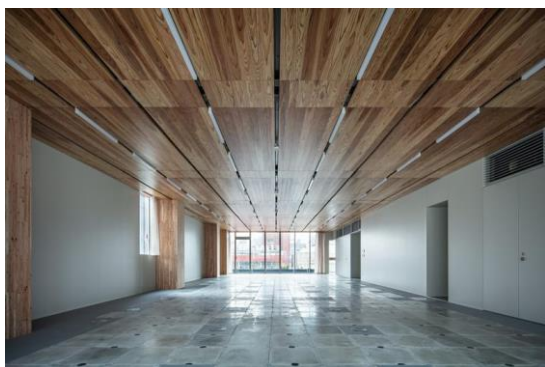
「e-works+CLT 補強」は、日鉄建材の設計・施工合理化ブランド『e-works+（イーワークスプラス）』シリーズの1つであり、天井仕上げ材として用いる CLT[※]（直交集成板）パネルとデッキ合成スラブを組み合わせることで、デッキプレートの型枠性能を向上させる技術です。同物件では、通常スーパーE デッキ EZ75（デッキプレート高さ 75mm）が必要となる設計ですが、CLT による補強効果で、EZ50（デッキプレート高さ 50mm）に抑えることができ、階高低減や軽量化にも繋がっています。

天井面は CLT による温かみのある空間を創出するとともに、デッキプレート形状に合わせて設けた CLT のスリットに照明を組み込むことで、意匠性の高い仕上がりとなっています。

同物件では、デッキプレートの山部の空間を配線スペースとして活用しており、デッキプレートと設備、躯体との取り合いを予め確認するため、BIM 設計用デッキプレート割付ツール「e-works+BIM for ArchiCAD」も活用いただいています。「e-works+BIM for ArchiCAD」は、デッキプレート形状を表現した BIM オブジェクトで、敷設範囲を指定することで自動的にデッキプレートを割付けできる機能を保有しており、溶接金網やスペーサー、コンクリートの描画も可能で、各部材の積算機能も付与している設計ツールです。

現在、「e-works+CLT 補強」は、本物件以外に2物件で採用中です。「e-works+CLT 補強」は、木質化や意匠性のニーズの高い事務所や商業施設、ホテルなどに最適な工法で、木材の利用のみならず、部材重量減による環境負荷の軽減が可能な工法です。是非、ご検討ください。

※CLT：Cross Laminated Timber の略で、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料



e-works+CLT 補強（REVZO 新橋）

〔本件に関するお問合せ先〕

日鉄建材株式会社 建築技術部 商品技術室 03-6625-6150

<日鉄建材株式会社の会社概要>

【 本 社 】 東京都千代田区外神田 4 丁目 14-1 秋葉原 UDX 13F

【 代 表 者 】 代表取締役社長 新城晃

【 資 本 金 】 59 億 1,250 万円

【 設 立 】 昭和 48 年 4 月 20 日

【 事業内容 】 鉄鋼建材製品の製造・販売

【ホームページ】 <http://www.ns-kenzai.co.jp>